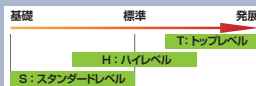


高 1

英語 T	授業は2部構成（英文法英作文・英文読解）になります。英文法と英作文では、入試頻出である「仮定法」をテーマに、入試問題まで解けるように指導します。英文読解では、実際の入試英文を素材とし、複雑な英文の構造分析と解釈の技術を指導します。
英語 H	入試頻出である「仮定法」をテーマに、応用レベルの入試問題まで解けるように指導を行います。現実には起こる可能性が極めて低いことについて述べる形式が仮定法ですが、時制の扱いが難しく、そのため難関大入試で頻出の項目となっています。国公立大2次試験レベルの問題にもチャレンジします。
英文法復習講座(上級編)	高校英文法の基礎となり、大学入試で頻出の「準動詞」「関係詞」「比較」を4日間で総復習する講座です。日本語にはない英語独自の発想を踏まえて、それぞれの単元を整理し直し、大学入試レベルの英作文にまで対応できる実践力を育成します。
英文法復習講座(標準編)	高校英文法の基礎となり、大学入試で頻出の「準動詞」「関係詞」「比較」を4日間で総復習する講座です。日本語にはない英語独自の発想を踏まえて、それぞれの単元を整理し直し、大学入試レベルの英文法問題にまで対応できる実践力を育成します。
数学「三角関数」T	数学Ⅱの単元である三角関数について講義、演習する講座です。単位円の弧の長さで角の大きさを表す弧度法を導入したあと、三角比からの自然な延長として三角関数を学びます。三角関数の本質である周期性、そして加法定理と合成に重点を置き、4日間でハイレベルな問題も扱い、この単元を習得します。
数学「三角関数」H	数学Ⅱの単元である三角関数について講義、演習する講座です。単位円の弧の長さで角の大きさを表す弧度法を導入したあと、三角比からの自然な延長として三角関数を学びます。三角関数の本質である周期性、そして加法定理と合成に重点を置き、やや高度な事項まで含めこの単元を習得します。
数学「三角関数」S	数学Ⅱの単元である三角関数について講義、演習する講座です。この単元は怒濤のように出てくる公式に面食らいがちですが、それに振り回されることなく、三角関数の本質である周期性をしっかり押さえ、加法定理と合成に重点を置いたメリハリのある授業で基礎～標準レベルの内容を確実に習得します。
数学「場合の数・確率」(上級編)	場合の数・確率は高1で学習する数学Aの単元でありながら、受験生でも苦手とする人が多く、さらに入試では難問もよく出題されます。本講座では定期テストレベルから入試レベルへの橋渡しを行い、本質の理解に基づく、高度な思考力の養成を目指します。
数学「場合の数・確率」(標準編)	場合の数・確率という単元は、公式を当てはめて解くだけでは教科書レベルを超えることはできません。たかが「数える」、されど「数える」。数え方の基礎から復習を行い、公式の意味や使い方を解説し標準レベルの問題が解けるようになることを目標とします。

高 2

英語 T 150 分	that, as, but の使い方を品詞と用法に分けてわかりやすく整理し、機能語の知識を高いレベルで体系化していきます。英文読解は、東京大、京都大、大阪大、国公立医科大の英文を素材とし、倒置・強調、省略・共通関係、挿入構文を含む英文の構造分析とマクロ的(巨視的)読解法を学びます。
英語 H	大学入試レベルで頻出の「同格」「名詞構文」は、直訳しただけでは意味が通りにくい非常に難解な文章になるため、長文読解だけではなく英作文でも多用されています。これらを克服するテクニックを、難易度の高い文章を用いて身につけていきます。
英語 S	大学入試レベルで頻出の「同格」「名詞構文」は、直訳しただけでは意味が通りにくい非常に難解な文章になるため、長文読解だけではなく英作文でも多用されています。これらを克服するテクニックを、基本的な文章を用いて身につけていきます。
必修英文法(上級編)	入試頻出の「時制」「仮定法」「比較」「関係詞」を学習します。どの単元も日本語にはない考え方が多くあり、単なる例文の丸暗記だけでは様々な問題形式に太刀打ちできません。この講座では各単元の基本概念を理解し、基礎だけではなく発展レベルの文法問題を解くことができる力を養います。
必修英文法(標準編)	入試頻出の「時制」「仮定法」「比較」「関係詞」を学習します。どの単元も日本語にはない考え方が多くあり、単なる例文の丸暗記だけでは様々な問題形式に太刀打ちできません。この講座では各単元の基本概念を理解し、基礎から標準レベルの文法問題を解くことができる力を養います。
数学ⅠAⅡB-T	「方程式」「不等式」「いろいろな関数」の各単元についてハイレベルで講義・演習します。解説では、単に問題の解き方を紹介するのではなく、なぜそのような考え方をすると問題が解けるのか、そのプロセスおよびいろいろな解法を紹介します。
数学ⅠAⅡB-H	関数や方程式・不等式を中心に、入試問題に対応できる力を養成します。定期テストレベルの問題から入試標準レベルへの橋渡しのみならず、発展問題のアプローチの方法を講義します。1月期以降も引き続き受講していただくことにより、数学ⅠAⅡBの全範囲を征服し、得点源としてください。
数学ⅠAⅡB-S	関数や方程式・不等式を中心に、教科書レベルから入試基本問題レベルの内容を完全にマスターし、入試標準レベルへの橋渡しも行います。公式類の知識が中途半端になってしまっている人は、まずは本講座で基礎固めを行い、大学受験への準備を進めましょう。
数学Ⅲ-T	数学Ⅲの重要単元である数列の極限について講義、演習する講座です。数列の一般項や和のnの値を大きくすれば、どのような値になっていくかを考えていきます。基本概念の解説、公式の証明、その活用法の演習という流れで、やや高度な事項まで含め、この単元を習得します。
数学Ⅲ-H	数学Ⅲの重要単元である数列の極限について講義、演習する講座です。数列の一般項や和のnの値を大きくすれば、どのような値になっていくかを考えていきます。基本概念の解説、公式の証明、その活用法の演習という流れで、この単元を習得します。
現代文・古文	現代文を2日、古文を2日扱います。入試問題を題材として演習・解説を行います。4日間の授業を通して、受験生として身につける必要がある力とその習得方法を提示します。これまで意識的に国語を勉強したことのない人にも、すでに受験を意識して動き始めている人にもおすすめです。
物理H	力学の最終テーマである「単振動」について講義します。入試出題率が非常に高いテーマのため、基礎となる原理をしっかりと理解した上で、演習を通してそれらの原理の使い方を自分のものにしていただきます。4日間で様々なバリエーションの問題を扱い、単振動についての理解を深めていきます。
化学「有機化学」H	高校化学の範囲である有機化学の前半の「炭化水素」「アルコール・エーテル」「アルデヒド・ケトン」「カルボン酸・エステル」までを、ゼロから講義していきます。この講義では応用が利くように反応機構を交えながら、暗記に頼らない本質の理解を目指します。
日本史	人類誕生から始まり、集団の形成、そして天皇中心の中央集権国家として成立していく過程である「原始・古代」の講義を行います。単なる暗記科目ではなく、「歴史のつながり」を意識することで飛躍的な向上が実現できる日本史。この講座で大学入試の日本史を知り、「歴史のつながり」を体感しましょう。



高 3

京大・阪大英語 150分	英文読解では、構造分析と下線部和訳、マクロ的読解法、前置詞の総整理を行います。論理的思考力を養成するだけでなく、専門用語や難語を含んだ抽象度の高い英文の読解法を学びます。英作文では、「書くため」の英文法をマスターすることを目標とし、添削指導を通して自然な英文の書き方を学びます。
国公立大英語	難関国公立大で出題される抽象度の高い読解問題を扱い、正確な構造分析とパラグラフリーディングを駆使し、下線部和訳や説明問題などの記述形式に対応する力を身につけます。英作文では、頻出のテーマを扱いながら、点数を取るための技術を1つずつ確認します。
関関同立大英語(読解編)/(文法編)	年々長文化する入試傾向をにらんで、大意を把握することを主眼においたパラグラフリーディングを用いて英文解釈を行います。また、パラフレーズ問題、空所補充問題、内容一致問題などの形式の解法などを学び、関関同立などの難関私立大の総合問題演習を行います。
私立大英語(読解編)/(文法編)	関関同立・産近甲龍など難関私立大の長文問題を攻略するため、最近の出題傾向に合わせた頻出構文と読解のテクニックを効果的に学びます。特に私立大特有のパラフレーズ問題、空所補充問題、英問英答問題、内容一致問題などの解法を中心に総合問題演習を行います。
センター英語(2Days) 100分×2回	各大問の解き方を本講座で最終チェックを行います。事前に問題をお渡ししますので、制限時間を計って受講してください。その問題を用いて演習・解説を行い、設問形式の押えておきたいポイントを指導します。センター英語ならではの独特な問題を重点的に攻略しますので、是非受講してください。
センター英語ファイナル(1日完結) 100分×2回	本番1週間前となる時期に演習・解説を行います。80分を測って予想問題を解き、その後に解き方の最終チェックを行います。この講座では復習も授業で完結するように行います。自分で過去問題演習をするよりも効率よくセンター試験の対策を行えるようにします。
京大・阪大数学ⅠAⅡB	数学ⅠAⅡBの内容の総合演習および解説を行います。解説では単なる解答にとどまらず、なぜそのような解法をとるのか、その最初のアプローチや数学的な発想法を重点的に説明し、初めて見る問題に対応できる実力を養成します。また、問題の難易度の見分け方や、論証の方法などの実戦力も養います。
国公立大数学ⅠAⅡB	神戸大、大阪市大、大阪府大などの難関国公立大合格を目指し、数学ⅠAⅡBの入試頻出問題を中心に演習および解説を行います。定理・公式の活用法やアプローチの方法を中心に講義し、初めて見る問題でも、その流れを読んで確実に解ける高度な思考力を養成します。
私立大数学ⅠAⅡB	難関私立大合格を目指し、数学ⅠAⅡBの基本事項の整理から始め、入試標準レベルの問題を確実に得点するための考え方や解法、限られた時間内で効率良く解くための計算方法などを中心に説明し、入試本番で8割以上得点できる実戦力を養います。
京大・阪大数学Ⅲ	数学Ⅲの内容の総合演習および解説を行います。数学Ⅲの典型問題はもちろん、思考力や計算力を要求される問題を扱い、答案を最後まで書き上げる力を確かなものにします。特に計算力の問われる数学Ⅲの問題の中でしっかりと思考し、最後まで計算をやりきる力を磨きます。
国公立大数学Ⅲ	神戸大、大阪市大、大阪府大などの難関国公立大理系学部合格を目指し、数学Ⅲの総合問題について講義・解説を行う講座です。入試頻出の良問を通して典型的な手法と確かな計算力を身につけ、国公立大2次試験において数学Ⅲを得点源にすることを目標とします。
私立大数学Ⅲ	難関私立大理系学部合格を目指し、数学Ⅲの内容の総合演習および解説を行います。数学Ⅲの典型問題はもちろん、思考力や計算力を要求される問題も扱います。最後まで答案を作成する力を確かなものにします。しっかりと思考し、最後まで計算をやりきる力を磨きましょう。
センター数学ⅠAⅡB	数学ⅠAⅡBの全範囲について最終的なトレーニングを行います。基本問題は確実に正解することはもちろん、高得点を目指すための計算の流れも再確認します。またミスしやすい要注意ポイントを押さえることで、本番では安心して受験できるようになるでしょう。※数学ⅠAのみ2日間受講も可能です。

センター現代文	第一問の評論に関しては本文が長くなりつつあります。読むスピードがない受験生にはかなり不利です。そこで本講座では効果的に解答に必要な場所を絞って読み込む方法と、各選択肢にちりばめられたウソを見抜いて答えを選択する方法を指導します。特に国公立大理系志望の方に強くお勧めする講座です。
私立大古文	敬語や助詞を利用した人物判定、速く文全体の流れをつかむ読解方法などの再確認をしつつ、私立大入試で頻出の客観問題の選択肢を絞り込む方法の習得を図ります。また、知識の盲点となりがちな文法識別問題や和歌の分析方法にも触れることで、知識の抜けがない状態を構築します。
センター古文・漢文	センター試験の古文・漢文の読解において、文法力と単語力はもちろん大切ですが、選択肢を利用した本文の読解法など、センター試験の古典には独特の解法があります。センター試験独特の読解法を指導します。特に国公立大理系志望の方に強くお勧めする講座です。
国公立大物理	センター試験の出題形式に合わせた問題で演習を行い、基本事項の理解度を確認するとともに、問題文の中からいかに物理的現象を把握し、解き進めるかを講義します。物理の解き方を確認し、自信をもってセンター試験本番を迎えるため最終講義です。
私立大物理	力学、波動、熱力学、電磁気学(原子物理学を除く)の4分野を1回の講義で1分野ずつ扱う。入試で合否の分かれ目となる「標準レベル」の問題を扱い、入試本番で解くための実践的な考え方を講義する。公式や原理は一通り覚えただけで、模試や過去問で得点が伸び悩んでいる、という方にお勧めの講座。
理系化学演習	化学の頻出分野である平衡、有機(脂肪族、芳香族、高分子)を重点的に演習していきます。これらの分野を確実に得点することができたら他の受験生に差をつけることができます。この講座を受講して自信をもって試験に臨みましょう。
センター化学	時間内にセンター形式の問題を解くことで実践力をつけていきます。残りの時間で解説を行い、重要な事項の確認を行っています。また、センター試験にも対応できるスピーディーで正確に正解を導く練習も併せて行います。この講座を受講して自信をもって試験に臨みましょう。
私立大日本史	様々な形式の入試問題演習を通して、知識の整理・深化だけでなく、知識をどのように使えば解答が導き出せるのかを提示します。難関私立大の入試問題には、単純な一問一答力では対処できません。4日間の授業を通して、確かな解答力を身につけて合格を引き寄せましょう。
センター日本史	本番を想定した予想問題演習により、センター試験で問われるポイントの最終確認を行います。センター試験本番で最初に受ける教科になるので、勢いをつけるためにも、単なる知識整理にとどまることなく、貪欲に高得点を狙っていくことのできる「設問に対するアプローチ方法」を習得しましょう。
センター地理	地理Bでは、知識量とともに過去問を解くことで培われる経験が物を言います。重要な過去問を解きポイントを絞り込むことで、問い方が変わってもぶれずに正確な答えを導き出す力を養います。試験直前のこの時期にこそできる「過去問演習」+「ポイントの絞り込み」で、飛躍的な得点アップを目指します。